

京都の町並みの象徴 京町家

清貞圭佑

(2020年入学 4期生)

はじめに

人は京都を訪れた時、何を目にして「あ、京都に来たな」と感じるのだろうか。寺や神社、納涼床など様々なものがあるが、私は京町家を見ると「京都に来たな」と感じている。京町家は、京都の景観を語る上で外せないものであり、京都の景観と聞いて京町家が思い浮かぶ人も多い。京都で造り上げられた文化の象徴の一つと言っても過言ではないだろう。長い歴史を持ちながら、今もなお京都の魅力の一つとして、京町家は存在し続けている。



京町家について

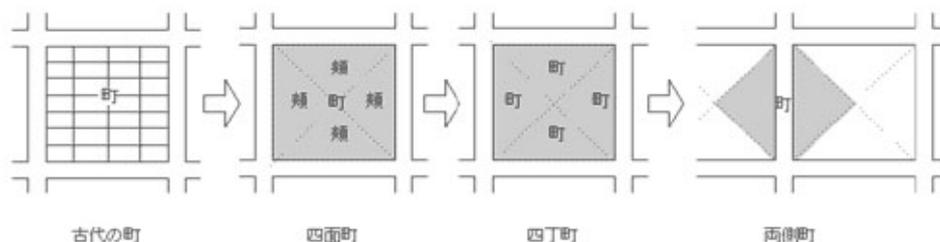
京都市景観・まちづくりセンターのホームページによると、京町家の定義はさまざまであり、統一された見解はないという記述がある。一般的に敷地形状は、うなぎの寝床といわれるように奥行きが長く、その構造は伝統的な軸組木造であり、間取りには通り庭、続き間、坪庭、奥庭を保っているか、それらを過去に有していた建物を京町家と呼んでいる。外観の特徴として、瓦屋根、大戸・格子戸、出格子、虫籠窓、土壁などが見られる。また、都市住民が都市の中で高密度に住み、往来の人との交流やふれあいを前提として商い、生産をする建物であるという性格上、その外壁は通りに面し、隣の建物とは近接し、軒を連ねているという特徴ももっている。

京町家の歴史

京町家の始まりは平安時代に遡る。平安京の時代、公家たちによって地方から徴用されてきた、ものづくりや商いを営んでいた人々が都市住民として京都に定着するようになった。そして、通りに面した屋敷地を公家たちから買い取り、自らの暮らしの拠点を大路、小路に面した空間に求めた。そこに小屋を造ったのが京町家の始まりとされている。通りに開いて

商売を行う京町家の原形は、やがて軒を連ねて建ち並び、通りは単に通行のためだけに供する都市施設ではなくなり、会話や様々な活動が営まれる場となった。

このように、京都では、通りに囲まれた内側にコミュニティを形成した欧米の都市とは異なり、通りを挟んだ両側町というコミュニティを形成していった。



両側町の成立の過程

京町家に挟まれた両側町の都市住民の生活は、ますます豊かになり、周辺からの略奪から身を守ることが必要になったが、集まって住むことで利益を共存していた。このような都市住民は、個人で防衛するのではなく、集団で防衛することでその費用や労力を共同で負担していたようだ。

江戸時代になると都市化が進み、防火、塵芥・し尿処理、清掃などの生活問題についても共同で対処するようになった。こうした各種の自治活動については「町式目」「町定」という名前で、町を共同で守り、育てていく住民のあり方も含め、町の運営ルールが明文化されていた。

江戸時代に入り長期に社会が安定すると、経済も成長し、都市住民の生活が豊かになるとともに、様々な技術も発達し、建築技術の合理化が進んだ。建築技術・工法の発達と建築工事の普及は、今日で言う工事の標準化、規格化を促し、畳や建具の寸法が統一された。このことで、どの家の建具でも共有できるようになると同時に、共通の寸法体系や素材による統一感のある建築意匠を形成し、今日の京町家の原形が形成された。こうして形成された京町家は、京都の産物の流通とともに全国各地に広がり、全国の町家建築に大きな影響を与えてきたのである。

京町家は、高度に都市化し洗練された都市居住文化によって築かれた。また、全国各地の銘木などの建築材料を取り込むことで、華奢で洗練された今日の京町家ができあがったと想定される。

現在の京町家

京都の町並み景観や生活文化の象徴である京町家は、近年その価値が見直されており、本来の住まいはもとより、お店、文化・芸術施設、大学キャンパス、オフィスなど、様々な使われ方がされている。例えば、人気店であるスターバックスコーヒーは二寧坂に京町家を利用した店舗を出店している。築100年を超える京町家をリノベーションした同店舗は、畳

の間でコーヒーを楽しめるようになっている。また、京都産業大学は、京町家を利用した施設である「町家学びテラス 西陣」を設置している。同施設は、地域との共生・連携を推進し、新しいものを生み出していくことを目的としている。このように、京町家は様々な形で利用されているのである。



京都産業大学 町家学びテラス 西陣



スターバックスコーヒー 京都二寧坂ヤサカ茶屋店

しかし、保全・継承について検討されることなく取り壊される京町家が少なくない。平成28年度に実施した「京町家まちづくり調査に係る追跡調査」では、平成20・21年度に47,735軒存在した京町家が40,146軒に減少し、空き家が5,002軒から5,834軒に増加していることが確認されている。年間800軒、1日2軒が滅失している計算となる。このことから、京町家は衰退していることが分かる。

京都市の取り組み

京都市では、平成12年に「京町家再生プラン」を策定し、多くの方々と連携しながら京町家の保全・再生に向けた取り組みを展開してきている。さらに、平成29年11月には、京町家の価値を改めて見直し、保全・継承に繋げるため、「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」(京町家条例)を制定した。この条例では、京町家の所有者だけでなく、使用者や事業者、市民活動団体、市民、行政等、多様な主体が連携して京町家の保全・継承に取り組むことや、京町家の取り壊しの危機を事前に把握し、保全・継承に繋げる仕組みとして、京町家の解体に係る事前届出制度などを定めている。

また、平成31年2月に、「京都市京町家保全・継承推進計画」を策定した。条例に定めた取り組みも含め、京町家の保全・継承に関する様々な取り組みを総合的かつ計画的に推進している。

最後に

本稿で京町家について調べていく中で、歴史の深さや京都市の取り組み、現状などを学ぶことができた。特に、京町家の歴史と現状を学べたことが最も有意義であったと考えている。本稿で記述しているように、京町家は様々な形で利用されているが、数が減少しており、空き家の数は増加している。このような現状を踏まえると、いずれ京町家は無くなってしまわないかと考えてしまい、寂しさを感じる。

長い歴史があり、京都の文化や歴史を造り上げてきた京町家。私が京都へ来て最も魅力を感じたものでもあるので、これからも京都の町並みの象徴として存在し続けていくことを願っている。

参考・引用

京町家について学ぶ | 京町家について | まちづくり・京町家相談 | 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンターホームページ (kyoto-machisen.jp)

[施設]京都市景観・まちづくりセンターひと・まち交流館京都 B1F (hitomachi-kyoto.jp)

1.京町家を保全・継承するために -京町家を未来へ (kyoto.lg.jp)

京都二寧坂ヤサカ茶屋店 | スターバックス コーヒー ジャパン (starbucks.co.jp)

町家 学びテラス・西陣 | 京都産業大学 (kyoto-su.ac.jp)

画像

[https://lifull-homes-press.s3.ap-northeast-](https://lifull-homes-press.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/uploads/press/2018/04/pixta_15968451_S-600x426.jpg)

[1.amazonaws.com/uploads/press/2018/04/pixta_15968451_S-600x426.jpg](https://lifull-homes-press.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/uploads/press/2018/04/pixta_15968451_S-600x426.jpg)

<https://kyoto-machisen.jp/machiya/detail/img/learn05.jpg>

https://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/terrace/s1gk4u000003vxps-img/h1_machiya02.jpg

<https://d3vbguy0yofad.cloudfront.net/store/images/img-concept-store-detail-1476-01.jpg>